

# 市長の施政方針に対する代表質問

3月定例会では、並木市長が令和7年度施政方針に基づく各種事業を説明し、それに対し各会派の代表が質問を行いました。

※質問時間は、10分+会派人数×5分です。

令和7年度の予算編成の基礎となる財政状況と今後の見通しは



明誠会  
金子 雄一



**問** 予算編成にあたり市の財政状況と新たな財源確保対策は。

答 令和5年度普通会計決算では、実質的な公債費の標準財政規模に対する比率を示す「実質公債費比率」や将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率を示す「将来負担比率」等の健全化判断比率は、県内40市の平均を下回り、良好な状況にあるものの、国庫支出金などの減収等により依然として、厳しい状況ですが、今後においても財政調整基金残高の適正規模を維持しつつ、予期せぬ災害等に対応できるように備

えていきます。

また、新たな財源確保対策として、現在、本市では、未利用資産の公売による売却のほか、市内事業者との連携により地域資源を最大限に活用しながら、ふるさと寄附金の受け入れ拡大を図るなど、自主財源の確保に取り組んでいます。そして、令和7年度の新たな取組として、市が所有する公共施設の運営や維持管理において、民間事業者からの提案を募集し、採用する場合は随意契約を保証することで実現化を図る「随意契約保証型民間提案制度」を実施すること、**「ネーミングライツ」**による収入増及び施設の維持管理などの役割提供による経費の節減が期待できることから、制度導入に向けたガイドラインの策定に取り組んでいきます。

○その他の質問

- ・「市制施行70周年記念事業」の検

証と「合併20周年記念事業」の展開  
・「市民と歩む新しい鴻巣」を実現するための今後の取組

ウエルビーイングなまちづくり  
施策・事業の選択と集中



新未来こうのす  
小泉 晋史



**問** ウェルビーイングなまちづくりに向けた市長肝入りの事業は。

答 本市のまちづくりへの意見や要望にきめ細やかに対応し、私が目指す「市民と歩む新しい鴻巣」をより具現化していくため、令和7年度の施政方針で、『くらしやすさを実現できるまちづくり』『こども・若者、子育てにやさしいまちづくり』『SDGsの推進による持続可能なまちづくり』の3つの基本理念を掲げ、その実現に向けて特に重点的に取り組んでいく新規事業や一部新規・拡充事業を中心に示した事業が、7年度における一押し事業でもありません。7年度においても、誰一人取り残さない持続可能な市政運営を進



め、3つの基本理念に基づく重点事業をはじめ、総合振興計画に基づく6つの政策の目標達成に向けて取り組む全ての事業を効果的・効率的に実施することで、本市のさらなる発展と飛躍、市民一人ひとりが主役となり、しあわせと生きがいを感じられる「ウエルビーイング」なまちづくりを進めます。

**問** 事業の選択と集中のポイントは。

答 「最小の経費で最大の効果」を念頭に、職員一人ひとりが全ての事業の必要性や効果をあらゆる角度から点検し、一層の創意工夫を行うほか、前例踏襲主義からの脱却、緊急度・優先度に基づく施策・事業の選択、経費の節減等を徹底し、経済・物価動向を見極め、賃金や調達価格の上昇を適切に考慮し、地域課題解決等の観点から予算案を決定しました。

持続可能な行財政運営の財源確保策  
命を守る防災機能強化をどう図るか



公明党  
潮田 幸子



**問** 市が取り組むべき課題は多岐にわたる。財政は厳しくとも市民のくらしは守らなければならない。持続可能な行財政運営のために税外収入等

の財源確保をどのように進めるのか。  
 令和7年度は、民間のアイデアや技術を活用して公共サービスを改善する「随意契約保証型民間提案制度」の導入に向けたガイドライン策定、企業による市所有施設への「ネーミングライツ（命名権）」で収益を得ることを検討しています。

**問** 激甚化・頻発化する自然災害、大規模道路陥没など、市民の命と暮らしを守る備え・取組は急務である。市は司令塔機能としての災害対応強化をどのように図るか。

答 災害発生時の司令塔機能の役割を担う市災害対策本部と、消防・警察・自衛隊・ライフライン業者等による「FEMA訓練」を行い、防災関係機関連携強化を図り、迅速・的確に指示ができる組織体制を確保しています。平時から正確な情報収集・整理を心掛け、災害対応力の向上に努めます。



○その他の質問

・本市における地方創生の柱は何か  
 ・全庁的なDX推進の取組の推進  
 ・ウェルビーイングなまちづくりの構想に「こどもまんなか社会」の実現をどう位置付けるか

市長就任して3回目となる  
 予算編成での重点施策は



このす未来と維新  
 羽鳥 健



**問** 令和4年8月、20年ぶりとなる新市政が発進し、市民から市政の刷新を期待されている。並木カラーを全面に出した予算を上程されたと考え、市長就任3回目となる予算編成での重点施策は何か。

答 「市民と歩む新しい鴻巣」の実現に向けて、重点的に取り組んでいく施策を令和7年度の施政方針における3つの基本理念として示しました。1つ目「くらしやすさを実感できるまちづくり」では、災害に対する備えや地域の安全確保、ライフステージに応じた健康づくり、利便性の高い都市機能の向上。2つ目「こども・若者、子育てにやさしいまちづくり」では、こどもを安心して産み育て、次代を担うこどもたちが健やかに成長できる環境づくりと併せて、「生きる力」を育むための学びの支援と文化芸術の振興。3つ目「SDGsの推進による持続可能なまちづくり」では、「コウノトリをシンボルとするSDGs未来都市」として、市民と

事業者との連携のもと、SDGs達成に向けた取組を拡大・深化することにより、持続可能なまちづくりを進めることとしています。

最優先・優先する事業は  
 特性を生かした事業とは



かいえんたい  
 大塚 佳之



**問** 事業を進める上では、予算と時間と人的確保が必要であり、不足が生じれば、事業推進が滞り市民生活に影響が生じる。本市の持つ特性を生かしつつ、優先すべき事業等を伺う。

答 事業の重点化と優先順位については、重点事業、主要事業、新規事業等を効率的・効果的に展開できるように調整した結果、3つの基本理念に基づく重点事業を、最優先事業として取り組みます。災害支援体制整備として備蓄品の充実、小・中学校体育館への空調設備の導入調査、川里地域で施設一体型の義務教育学校整備、道の駅整備などが主な内容です。本市は、約400年の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、近年では、「花のまち」として発展してきました。「コウノトリをシンボルとしたSDGs達成に向けた取組をはじめ、ひな

人形や花など特色ある市政運営を展開していきます。

施策を展開していく上での職員体制  
 SDGs目標につながる農業振興策



日本共産党  
 竹田 悦子



**問** 安全安心に暮らす上でも災害支援体制整備や、様々な事業を進めていく上でも正職員を増やすことは。

答 急速な社会変化に対応するとともに、多様化する市民ニーズに応える職員体制にするため、今年4月1日時点で708人となる予定です。再任用職員、任期付職員及び会計年度任用職員の活用を図り、市民サービスの向上に取り組んでいきます。

**問** 地球沸騰化の時代、脱炭素につながる取組の一つとしての農業振興策の具体化は。

答 昨年、一昨年の6月から8月にかけて記録的な猛暑となった結果、農作物にも大きな被害をもたらしています。農業のもつ物質環境機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料や農薬の使用等による環境負荷に配慮した「有機農業」等を支援していきます。